

2016 年漢陽大学サマーセミナー

人文学部 大場千尋

2016 年の 8 月、韓国のソウルにある漢陽大学に 3 週間の短期留学をしました。私は韓国の歴史ドラマが好きで朝鮮の言語や文化、歴史に興味を持ったことをきっかけに大学在学中に韓国に留学をしたいと考えていました。初修外国語として朝鮮語を学んでいたもので少しでも使ってみたいということもあり、このプログラムに参加することを決めました。

このプログラムのメインは語学学習です。日曜日と文化体験の日を除く毎日、50 分×4 コマの授業がありました。最初に受けるプレイスメントテストの結果により、7 段階のレベルに分けられます。そのため、自分の語学能力に合ったレベルで学ぶことができました。韓国語がわからなくても問題はありますが、基礎を理解していった方が、授業も生活も楽しめると思います。毎日、授業後に韓国人学生のチューターさんが 2 時間ほど勉強会を開いてくれるため、授業の課題でわからないときはそこで聞くなどしました。

最も印象に残ったのは、自分が思うよりも町の中には親切な方が多いということです。スペシャルアクティビティで韓国の遊園地に行った際、韓国語がわからず困っていた時に、若い女性が日本語を使い、見ず知らずの私たち日本人を助けてくれました。私も韓国好きとはいえ、もしかしたら日本人だからと差別を受けるかもしれない、という気持ちがあったのですが、むしろ日本人だと知ると好意的に話しかけてくださる方が多いように思いました。

留学を通して学んだことは、自分から積極的に動くことが大切だということです。自分の学ぶ言語を習得したいと思ったら、ネイティブの人々に話しかけたり、ちょっとした会話にも耳を傾けたりする等、全てに意味があると思います。自分から積極的に吸収していかなければ、自分の語学も自分自身も前進がないと考えます。

語学力がどのくらい上達したかどうかに関しては、人それぞれです。私の場合、だんだん耳が慣れてある程度聞き取れるようになりました。ただ、会話を聞くことだけに集中して自分から進んで会話をするををしなかったので、会話能力は上がりませんでした。3 週間で急激に伸びるということはないと思います。

私は今年の 8 月から韓国の仁川にある仁荷大学に、1 年間の留学をします。はじめは、長期留学の予定はありませんでしたが、このプログラムが終わる頃には、さらに韓国語や韓国の文化、歴史に触れたいと思うようになり、もう一度留学して自分の語学と自分自身を深めたいと考え、長期留学を決めました。

また、このプログラムで韓国人学生以外にも日本人学生や様々な人と出会いました。留学することで、様々な国籍の人と出会い、考えや文化を交換し合い、大学生活を充実させたいと思ったことも理由のひとつです。自分のやりたいことを考えるきっかけがこのプログラムです。

私がこの短期留学を薦める理由としては、自分のそれまでの知識・常識以上に視野を広げることができるからです。実際にその国の文化や習慣に触れることができるいい機会だと思います。この韓国サマーセミナーに限らず、新潟大学には様々なプログラムがありま

す。どのプログラムでも充実した時間を過ごすことができるので、迷っていたらぜひガイダンス等に参加してみてください。



